

本多忠勝 とんぼ切り



本多忠勝は、三河の国（今の愛知県）に生まれ、徳川家康の家来になりました。家康をささえた四人の強いぶしうは「徳川四天王」とよばれ、忠勝はその中の一人でした。忠勝は、「とんぼ切り」という名前のやりをてきと戦う時に使いました。ある時、立てていたやりの先に、とんできたトンボがふれて、体が二つに切れました。そんな話からついた名前です。それくらい、よく切れるやりでした。

大きなしかの角のついたかぶとをかぶり、この「とんぼ切り」を手にした忠勝は、戦場でいちばん目立つぶしうでした。そんな忠勝は、一生のうちに六十回近くも戦に出たと言われています。それなのに、一どもきずを負わなかったと伝えられています。

せんたく(1)

忠勝のやりの名前は何かでしようか？
えらんで○をつけましょう。

① とんぼ切り

② かみなり切り

③ かぜ切り

せんたく(2)

忠勝はだれの家来になったでしようか？
えらんで○をつけましょう。

① 織田信長

② 豊臣秀吉

③ 徳川家康

きじゅつ(1)

忠勝のかぶとには何がついていましたか？

きじゅつ(2)

家康をささえた四人は何とよばれましたか？

かん字

かん字に直して書きましょう。

(1) むし

(2) たけ

(3) いと

--	--	--

こたえ

本多忠勝 ほんだただかつ

せんたく

(1) ①
(2) ②
(3) ③

きじゅつ

(1) しかのつの
(2) とくがわしてんのう

かん字

(1) 虫 むし
(2) 竹 たけ
(3) 糸 いと